

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター



2011年4月1日 第25号

編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団

群馬県がん対策推進協議会 当協議会より2名が委員となりました

昨年12月、群馬県がん対策推進条例が制定され、この条例に基づく群馬県がん対策推進協議会が発足されました。当協議会から本田会長と一般公募により土屋副会長が委員として参加することになりました。当初3月中に第1回の会議が行われる予定でしたが、震災のため6月に延期となりました。

そこで、先日4月28日に役員会と企画委員会が初めての合同勉強会を開催し、群馬県のがん対策（主に23年度の事業）について、当協議会がどのような協力をしてくることができるのか話し合う機会を持ちました。

県事業の詳細は6月にうかがえるようですが、群馬県ホームページによると、【新規】がんに強いぐんまづくりシンポジウムの開催（831千円）、【新規】群馬県がん対策推進条例紹介リーフレットの作成・配布（781千円）、【新規】職域がん検診応援（751千円）、【新規】がんに強い群馬づくり推進サポーター認定（400千円）、【新規】がん検診「知ろう、受けよう、勧めよう」キャンペーン（513千円）【新規】（仮称）がん総合相談支援センター設置検討（527千円）、【新規】群馬県がん情報サイト開設（1,467千円）、【新規】がん患者必携「地域の療養情報」群馬県版作成（1,000千円）が新規事業として予算が組み込まれています。

その他にも様々ながん対策の推進や検診受診率向上・がん予防のための事業が計画されています。

私たちは、患者会活動の経験を活かし、要請があれば積極的に事業に参加し、行政や医療機関と協力していく準備ができていますということを本田会長と土屋副会長に表明していただくことになりました。



あけぼの群馬 母の日キャンペーンを実施しました

去る5月8日（日）、JR高崎駅西口において毎年恒例のあけぼの群馬「母の日キャンペーン」が実施されました。

当日は、ゴールデンウィーク最終日であり、日差しは眩しく、気温も暑いくらいでした。定刻どおりマンモグラフィ検診車は高崎駅に到着しました。

あけぼの群馬会員の皆さんは、おそろいのピンクのジャンパーに身を包み、幟り旗を手に、元気よく、道行く人たちに乳がん検診の大切さを伝えていました。

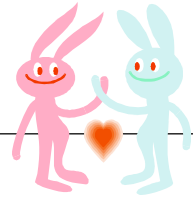
医師の視触診とマンモグラフィによる乳がん検診が実施され、ひとり1,000円の負担で受診できる機会ともあり、事前申込みを受け付け、当日は来られなかった方や飛び入りで受診された方を含め、13人が受診しました。

駅前の花屋さんにはカーネーションがたくさん飾られ、母の日の花を買いたい方がいる風景の中、このキャンペーンを続けることは意義深いことだと思いました。親子連れで近くまで来て話しかけてくれること、若い方が関心を示してくれることに充実感をおぼえます。皆さん、お疲れさまでした。

会員の皆さんで記念撮影
今年も充実したキャンペーンでした



♪企画委員による がんサロン訪問記♪



県内がん診療連携拠点病院に設置されているがんサロン。
どのような雰囲気、どのような話をしているのでしょうか？
ここでは、がん連協・企画委員の皆さんが参加されたサロンの様子を訪問記として紹介させていただきます。

患者サロン「オアシス」に参加して

篠原敦子

「オアシス」(伊勢崎市民病院の患者サロン)に参加させていただいたのは5月の雨上がり、さわやかな朝でした。初めは放射線治療、在宅ケアのネットワークについてスライドで勉強し、談話の時間になると、参加者が会話をしやすいようリーダーの方がいとも自然に話を振ってくれます。その明るい空気に呑まれ、初めての私もいつの間にかお喋りしていました。

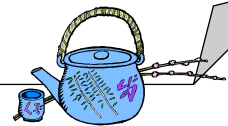
ふるまわれた紙コップの緑茶が熱く濃く、とても美味しかったのを覚えています。

情報交換には個々人の症状や事情が絡むのでここには書けませんが、特記すべきは、女性の患者さんたちのファッションセンスでした。清楚なシャツブラウスの人、着物の布を襟元に見せたジーンズ生地を着こなした人、などなど。それはお金をかけたお洒落ではないのです。時に家族の閉塞状態に悩むなか、明るいお化粧をしてサロンに出ることは、人が想像する以上に女性の励みになるのでしょうか。気持ちが装いを引き立てた、という逆現象があったのかもしれない。

脳梗塞の後遺症で認知症の進んだ自分の母を思うと、患者サロンのようなところに参加できないことが不憫です。「今日は仕事をかたづけよう」「やっぱり休息をとろう」と、自分で判断を下せるがん患者はむしろ幸せかもしれない、と感じました。翌日、施設に母を見舞い、ベッドサイドであれこれ話しかけているとき、母の目がうっすら白く濁っているのに気づきました。驚いて職員の方を呼ぶと、白内障が始まっているとのことでした。本人は視野が濁っても、言葉が出ないために訴えられなかったのです。

サロン体験をきっかけに母を可哀想に思い、いつもより長い時間、その目を覗き込んでいたために気づいたことでした。何が幸いするかわからないものです。

オアシスで楽しいひと時を過ごしたご報告とともに、私事を付け加えさせていただきます。



掲示板



☆市民講座

～がんと一緒に働こう～
働きながら治療を続けるために
患者と職場ができること

◇開催日時：平成23年6月18日(土)
午後13:30～16:00

◇開催場所：群馬会館 (群馬県庁前)

◇特別講演 「がんと一緒に働こう」
がんサロンのコーディネーター代表取締役社長

桜井 なおみ氏

当日は群馬県がん患者団体連絡協議会が中心となり
患者・家族・一般市民・医療従事者による交流茶話会も
行われます。(茶話会は15:15～16:00)
お気軽に参加してください)

☆ がん連協 みなさんへのお願い ☆

今年の10月、がん連協合同の作品展を群馬県庁において開催する予定となっております。

絵画・書道・工芸・短歌・俳句など...いろいろな趣味をお持ちで作品を制作している会員のみなさん。がん連協に所属する患者会の人たちと一緒に文化交流するとともに、県民の皆さんに私たちの活動をPRしませんか？

...編集後記...

高崎市美術館に「ねこ写真展」を見に行きました。普段携帯で撮影しようとして、まったく満足のいくものが撮れませんが、岩合カメラマンの作品は、「あなたもねこですか？」と思うほどの素晴らしい決定的瞬間が切り取られていました。

近頃、ねこの集いをあまり見かけませんが、昨年自宅近く(前橋駅そば)で夜に、犬でも猫でもない生き物を見ました。イタチかハクビシンに間違いないと思うのですが、誰も信じてくれません。。。

健康づくり財団の近くは時々、タヌキが出没するようです。

編集担当 荒木 美保

【事務局】

〒371-0005

群馬県前橋市堀之下町16-1 群馬県健康づくり財団 総務部内
電話 027-269-7811